

A-c CSR活動推進体制

CSR活動推進体制

HORIBA のCSR の活動は、事業を通じて行うことが基本的な考えですが、私たちがステークホルダーから期待されているものは、それだけではありません。一企業市民として、期待される役割に応えるため、社会貢献活動を行い、それを通じて、CSR に対する HORIBA の意識の高さや取り組み姿勢を、広く理解してもらうことも大切です。

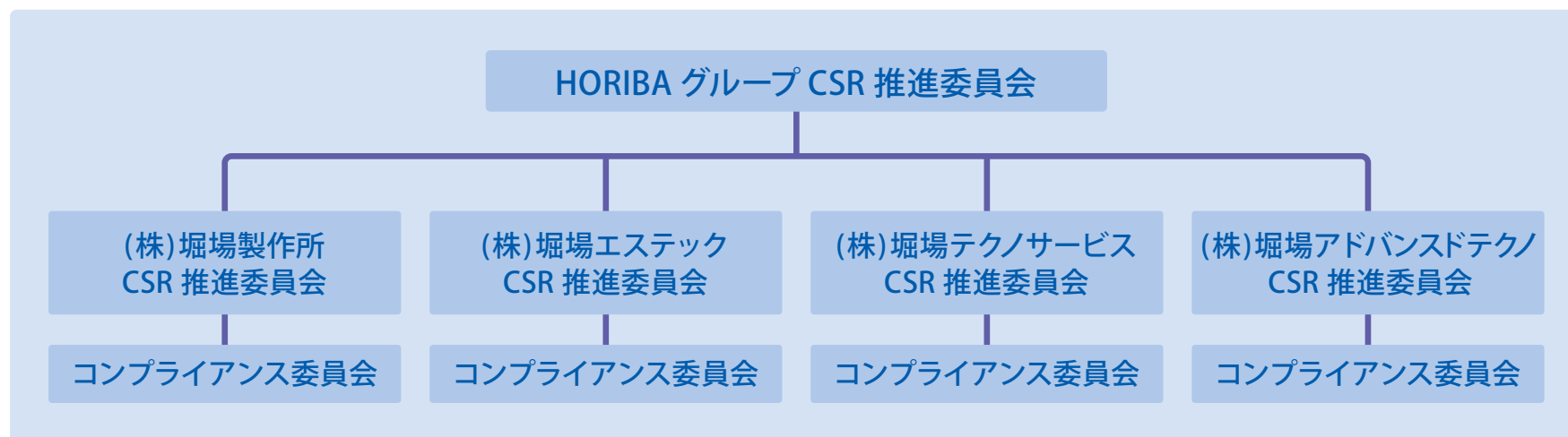
HORIBA グループでは、2005 年 4 月から「HORIBA グループ CSR 推進委員会」を立ち上げて、グループを挙げて CSR 活動に取り組んでいます。

同委員会は、半年に一度開催され、(株)堀場製作所 代表取締役副社長 石田耕三を委員長に、(株)堀場エステック、(株)堀場アドバンステクノ、(株)堀場テクノサービスの国内グループ会社 4 社の CSR 担当役員が委員として出席し、グループ全体の CSR 方針、重点課題

を決定しています。同委員会における承認事項、審議内容は、各社の CSR 推進委員会を通じて、全職場への落とし込みを図っています。

各社の CSR 推進委員会は、3 ヶ月に一度開催され、HORIBA グループ CSR 推進委員会で決定された内容の具体的な活動内容の検討や教育、環境、地域社会など様々な場面における HORIBA の社会貢献活動について、取りまとめ、報告を行っています。

● HORIBA グループCSR推進体制図



KEYWORDS

：| グループCSR方針 | 重点課題 | コーポレートガバナンス | 内部統制 | CSR活動推進体制 | コンプライアンス推進体制 | リスクマネジメント | 法務教育 | 国連グローバルコンパクト